

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成25年度採択分）  
「オープンアクセスジャーナルによる物理学術情報発信強化の取組」  
（課題番号：254002）

学術団体名：一般社団法人 日本物理学会  
学術刊行物の名称：Progress of Theoretical and Experimental Physics  
事業期間：平成25年度～平成29年度

## 1 取組の概要

### ・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

国際情報発信の拠点として、誰もが無償で学術論文を入手できるオープンアクセス学術誌を実現する。理論に加えて実験物理学分野を重要な対象分野とする。投稿促進・財政支援のため支援機関との協定締結を推進する。

### ・応募時に設定した取組の目標・評価指標

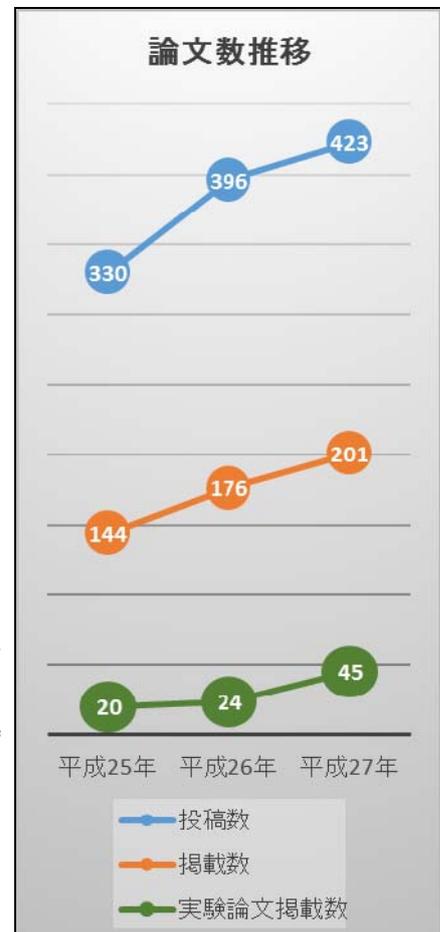
掲載論文数：128篇（平成23年）から  
180篇（平成27年）、220篇（平成29年）  
インパクト・ファクター：2.29（平成23年）から  
2.5（平成27年）、2.7（平成29年）  
ダウンロード数：7,000件/月（平成23年）から 10,000件/月（平成27年）  
12,000件/月（平成29年）  
海外編集委員の割合：20%（平成24年）から 22%（平成27年）、  
25%（平成29年）  
（右円グラフは、平成24年9月～平成27年9月のデータ）



## 2 目標の達成状況

### ・現在までの目標の達成状況

投稿論文数：330篇（平成25年）、396篇（平成26年）、  
423篇（平成27年見込）  
掲載論文数：144篇（平成25年）、176篇（平成26年）、  
201篇（平成27年見込）  
インパクト・ファクター：2.745（平成26年）、2.485（平成27年）  
ダウンロード数：41,596件/月（平成27年）  
招待・特集論文：13篇（平成25年）、16篇（平成26年）、  
11篇（平成27年9月まで）  
海外編集委員の割合：21%（平成27年）  
支援機関：2機関（平成24年）から 9機関（平成27年9月現在）



### ・今後の計画

- 研究者コミュニティに働きかけて、優れた論文の投稿を促す。
- 招待・特集論文を積極的に企画して、注目される論文の増加を目指す。
- 高いインパクト・ファクターを維持しながら、掲載論文数の拡大を目指す。
- 投稿促進と財政支援を二つの柱として、支援機関のさらなる獲得を目指す。
- オープンアクセス学術誌の持続的な運営体制を確立するために、SCOAP<sup>3</sup>と緊密に協力して行く。

（平成27年の論文数は9月末までの実績を基にした見込数）